

II. 中学校での学習について

1 目的

中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的としています。

2 中学校での学習について

3年間で、自分の適性を考え、自らの将来を切り拓く意欲と能力を養うことが目標となります。

(1) 中学校での学習

① 中学校での学習

ア 教科 国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語

特別の教科道徳 総合的な学習の時間 特別活動

※定期テスト：日常の学習の成果を図るために行います。

※全国学力・学習状況調査 埼玉県学力・学習状況調査

イ 生徒会活動、学校行事、部活動など、生徒が自主的に取り組む場が多くなります。

② 授業を大切に

ア 意欲をもって主体的に参加する。仲間との対話や協働の場を大切にする。

イ 忘れ物をしない。

ウ 家庭学習の習慣を身に付ける。

○学習したことを確かなものにするために、毎日学習する。(予習・復習・宿題)

○学校の学習だけでなく、進んで読書や自主学習に取り組む。

○定期テスト前は、テスト範囲表を見ながら計画的に復習する。

○身近な課題について「自分の頭で考える」習慣を身に付ける。

③ お子様に意欲をもたせるには

ア 将来何になりたいか、話し合うようにする。(夢や目標をもたせる)

イ 子どもの長所を具体的に褒めて伸ばす。

ウ テストの点数だけで評価せず、努力している姿勢やプロセスを褒める。

(2) 進路選択について

中学校では、生徒一人一人が自分の将来の生き方について、必要な能力や態度を身に付けるための学習を行います。

① 家庭では

ア 進学・就職することが、自分の将来の生き方においてどんな意味や価値があるのか

「自分なりの意思や考え」をしっかりとらせる。

イ 1年生のときから、お子様の将来の進路について考え、親子で話し合う機会を積極的にもつようにする。

② 進路を切り拓くために

ア 着実な学習 ※積み重ねが実力につながります。

イ 意欲的な生活

○自分でできることは自分でする。

○自分のもっている力を発揮する。

ウ 自分のことをよく知る

○自分の特技や長所

○興味や関心があること

○社会とのつながり